

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36 (西)	一人ひとりの思いや暮らし方などの意向にそった関わりがもう少し出来れば良い。	個別ケアの充実を図り、満足感が得られる関わりをする。	日頃の関わりから一人ひとりの希望を把握し、実現していく。馴染みのある方との交流を行っていく。	12ヶ月
2	26 (西)	定期的に担当者会議を行っているが、家族の参加が少ない。参加できない時は電話や来所時に希望を確認している。	担当者会議で現状報告と家族の要望を聞き、情報を共有しながらサービスに反映させていく。	年1回以上は家族参加の担当者会議ができるように調整していく。	12ヶ月
3	2・3 (西)	ボランティアやオレンジカフェなど一部の地域の人との交流があるが、一歩進めた地域との交流が必要だ。	事業所の事を地域の人にもっと理解し・親しんでもらい認知症の人の理解をすすめる。	地域との結びつきを更に強めていくための係をつくり、係を中心に広報の仕方や交流を深める方法等立案し、実行していく。	12ヶ月
4	26 (東)	サービス担当者会議に一部の家族に参加してもらっているが、参加してない家族も多い。	サービス担当者会議にできるだけ多くの家族に参加してもらい、現状を理解してもらい、本人や家族の意見を反映したものにする。	サービス担当者会議を家族が参加しやすい日程で行い、できるだけ多くの家族に参加してもらい、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成する。	12ヶ月
5	47 (東)	一人ひとりの力や希望を活かした役割や楽しみを提供しているが、もっと出来る事があるか検討が必要。	一人ひとりの現在の役割や楽しみを、もっと出来る事がないか改めて検討し、今よりさらに張りあいや喜びのある日々を過ごせるようにする。	一人ひとりの持てる力や楽しみごとについて改めて検討し、強化して行う日を設定し、職員が意識して関わり、利用者が張りあいや喜びのある日々を過ごせるようにする。	12ヶ月
6	2・3 (東)	ボランティアやオレンジカフェなど一部の地域の人との交流があるが、一歩進めた地域との交流が必要。	事業所の事を地域の人にもっと理解し・親しんでもらい認知症の人の理解をすすめる。	地域との結びつきを更に強めていくための係をつくり、係を中心に広報の仕方や交流を深める方法等立案し、実行していく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。